

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハーファステップBecoming			
○保護者評価実施期間	2026年12月1日		～	2026年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2026年12月1日		～	2026年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月15日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに向き合い、さまざまな評価や検査、観察を用い、分析しながら日々のセッションで瞬時に対応できるよう努めている(学び続けている)	スタッフの愛と技術をしっかりと培うできるよう、月1回の会議・週1回の研修欠かさず実施している。 また、セッションを動画撮影(同意書あり)し、スタッフ全員で検討、各自の苦手を理解しながら、1時間を大切に過ごせるよう、進めている	スタッフみんながBecomingで働いていることに誇りを持つよう、学びあい、高めあいながら、自己研鑽に努めることができるよう、運営を進める
2	Becomingは保護者同伴が基本 就学後も送迎をお願いしており、保護者と一緒に子を育てることを大切にし、子育ての楽しさやおもしろさ、ワクワクを共に共有しながら進めている	セッションが始まる前や終了後などに保護者と対話をする時間を必ず設定し、相談などに応じることができる。 その日、その時の不安や悩みにすぐに寄り添うことができるよう、努めている。	上に同じ
3	個別～小集団(2-3名)～大集団(10名程度)で、こどもたちの状態・状況・必要なことをしっかりと評価分析できる。また、環境や課題のセッティングにおいてもしっかりとステップが踏めるよう、細かな設定ができる	それぞれのグループや個別の力動を理解し、各々の課題に沿った活動と今後必要なスキルを分析し、セッションを進めている	スタッフ一人ひとりの専門性をさらに向上させ、支援の質を高めるとともに、セッション日以外での保護者会や相談会、研修会などにも取り組みを増やす

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ただ専門職(スタッフ)がいるということだけでなく、しっかりと学び続けていることを伝えることができていない	アウトプットの弱さ	学会発表や症例発表、徐々に進めている 来年度は、Becomingのよさをしっかりと伝えていきたい
2	福祉事業の枠にとらわれず、地域のこどもたちや社会参加という観点からBecomingを広げていくこと	アウトプットの弱さ	SNSやYouTubeなどで、Becomingを進めていることを知ってもらう機会を増やす
3			